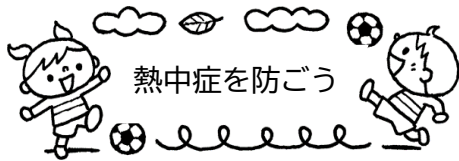


2026年7月
聖隷こども園夢舞台

梅雨から夏にかけて、気温や湿度がぐんぐんと上がり暑くなってきました。

子どもたちの熱中症対策やあせも対策に加え、6月は夏の感染症といわれる「手足口病」「アデノウイルス」など流行がみられました。園でも手洗いや消毒など十分気をつけてまいりますので、ご家庭でも手洗いや早めの病院受診などご協力をよろしくお願いします。



本格的に暑くなってきたこの時期、子どもが「頭いたーい」や「気分わるい」の訴えがあると、まず初めに「熱中症になっていないか?」と、ドキッと緊張する場面です。「熱中症」は、急速に進行して重症化してしまうため、早めの段階で異常に気づき応急処置を行うことが大切です。「体を動かし汗をかく・体力づくり」と「熱中症予防」のバランスに注意し、見守っていきたいと思います。

熱中症の危険な症状

- ① めまいや顔のほてり
- ② 筋肉痛や筋肉のけいれん
- ③ 体のだるさや吐き気、頭痛
- ④ 汗のかきかたがおかしい（ふいてもふいても汗が出る、もしくは全く汗をかいていないなど）
- ⑤ 体温が高い、皮膚の異常
- ⑥ 呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない
- ⑦ 水分補給ができない



熱中症になった場合の応急処置

まずは体の熱を放散させ、冷やすことが大切です

- ① 冷たい濡れタオルで身体を拭く
- ② エアコン・扇風機・うちわ等で風を送り、涼しい場所に寝かせる
- ③ 衣服を緩め、安静に寝かせる
- ④ 飲めるようであれば水分をこまめに摂る
- ⑤ 太い血管部分（わきの下・首の周り、太ももの付け根）を冷やす

★意識障害がみられる、自力での水分摂取ができない場合は、迷わず救急車を呼びましょう



プールのお願い

待ちに待ったプールが7/10からスタートします！

- 手紙でお知らせしましたが、体調不良や怪我があるなどの場合は、入水不可となっています。傷パワーパッドや絆創膏などを貼って保護していても入水不可となりますので、ご注意ください。（理由：傷口への感染や剥がれてしまうため）プール期間中は、疲れがたまり、熱中症になるリスクが高まります。
- 朝ごはんをしっかり食べる・早めの就寝を心がけ、体調管理に気をつけましょう☆

歯みがき勉強会を行いました！



6/10に3・4・5歳児さんを対象に実施しました。紙芝居で歯みがきの大切さを学び、歯ブラシの持ち方、磨き方を実演しました。3歳さんは少しずつ手先が器用になってくる頃なので、家庭でも動かし方をしっかりと教えてあげてくださいね。4・5歳児さんは「歯みがきがなぜ大切か」ということをしっかりと理解できるようになったと思います。1本ずつ丁寧に磨く習慣がつくようにみてあげてくださいね◎

